
ガリア魔法学校物語（設定）

tyawan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ガリア魔法学校物語（設定）

【Nコード】

N3922Y

【作者名】

tyawan

【あらすじ】

主人公の は皆既日食の日に突然異世界にやってきてしまった。飛ばされた場所は深い森の中で、いきなり魔獣に襲われていたところを、部隊作戦中の美保に助けられる。しかし、倒したと思っていた魔獣に油断をして逆に襲われた美保を庇い、瀕死の重傷を負う。次に目が覚めたのは、知らないベットの。そこは美保の家だった。異世界に飛ばされて右も左も分からない状態の主人公は、しばらく美保の家に厄介になりこの世界の常識を学ぶと同時に、ガリア魔法学校に入学することになる。

設定1（前書き）

これは私が考えた物語の設定です。

こんな作品があったらいいな、という妄想です。

本当は自分で書きたいのですが小説を書く時間がないため、プロットだけを載せました。

これを見て、是非作品にしてみたい、という方がいれば、ご自由に設定をお使いください。

固有名詞などは適当につけただけなので、あまり気にしないでください。

まだ構想中なのでいろいろと中途半端な部分があります。

また、著作権などを主張する気はまったく無いので、もし単行本などで出版されても、私が介入するようなことはありません。

ただし、感想欄でいいので、一言ご連絡をください（私が是非読んでみたいからです）

なお、複数の方がこの設定を使用して、トラブルが起きた場合は責任をとれません。が、万が一を考えて、最終的な決定権（どの方の作品を正式なものにするか）は私が持っているものとなります。

設定 1

これは私が考えた物語の設定です。

こんな作品があったらいいな、という妄想です。

本当は自分で書きたいのですが小説を書く時間がないため、プロットだけを載せました。

これを見て、是非作品にしてみたい、という方がいれば、ご自由に設定をお使いください。

固有名詞などは適当につけただけなので、あまり気にしないでください。

まだ構想中なのでいろいろと中途半端な部分があります。

また、著作権などを主張する気はまったく無いので、もし単行本などで出版されても、私が介入するようなことはありません。

ただし、感想欄でいいので、一言ご連絡をください（私が是非読んでみたいからです）

なお、複数の方がこの設定を使用して、トラブルが起きた場合は責任をとれません。が、万が一を考えて、最終的な決定権（どの方の作品を正式なものにするか）は私が持っているものとなります。

.....

コンセプト

- ・ 異世界
- ・ 魔法学校
- ・ 年上処女ヒロイン
- ・ ハーレム

あらすじ

主人公の　　は皆既日食の日に突然異世界にやってきてしまった。
。飛ばされた場所は深い森の中で、いきなり魔獣に襲われていたところを、部隊作戦中の美保に助けられる。しかし、倒したと思っていた魔獣に油断をして逆に襲われた美保を庇い、瀕死の重傷を負う。次に目が覚めたのは、知らないベットの。そこは美保の家だった。異世界に飛ばされて右も左も分からない状態の主人公は、しばらく美保の家に厄介になりこの世界の常識を学ぶと同時に、ガリア魔法学校に入学することになる。

学校設定

・世界一の魔法学校、ガリア魔法学校をトップとした学園都市国家。
(空中に浮かぶ島々によって構成されている。)

・中立国。

・生徒を除くとAクラスの魔法使いは2人いる(バルキュリア隊長、学園長)。今年度の生徒ではAクラスは5人。

・ガリア魔法学校と付属下級学園のほかにも、学校や教育機関が多数ある。しかし、王族や貴族などは、そのほとんどがガリア魔法学校に入学する。

・かつては七大国の一つガリアの王立学校であったが、第　代目国王が教育改革を行い、最高の教師と設備を整えた学園にし、各国から入学希望者を募る。見事に成功し、このためさらに学園が大きくなり、入学希望者が増える・・・という結果、一国の学校としてでは(他国の王族を入学させるなど)都合が悪くなったため、学園自体が独立。(このときにはすでに、ガリア魔法学校を中心として、様々な教育施設が存在する世界有数の学園都市であった。)

・世界中の貴族、王族が入学をする。そのため、厳重な警備を必要とし、結果、様々な特権を持った特殊な独立軍、ガリア魔法騎士団を持つ。

・ガリア魔法騎士団：ガリア軍に属する他国の軍や国連軍とは完全に独立した軍隊。騎士のみで構成される（街の警備などの雑用は騎士ではない軍人が行う）。様々な特権をもち（といっても、他国よりも権力が強いわけではない）、ガリア魔法学園都市の安全と中立性を守っている。いくつもの部隊に分かれている。中でも、バルキユリア部隊はDランク以上の女性騎士のみで構成されており、最も強く、男女両方から絶大な人気がある。また、バルキユリア部隊ともう一つ、近衛騎士団も女性のみで構成されている。今は、平和な時代であるため、訓練や偵察、国境付近の警備、魔物の駆除などが主な仕事であり、比較的のんびりしている。

・バルキユリア部隊：ガリア魔法騎士団の中で最も強く、人気のある部隊。同規模の部隊では世界でも屈指の実力を持つ。他の部隊とは別格で、ガリア魔法騎士団の代表であり、様々な特権をもっている。特に小隊長以上の隊員は、かなりの待遇である。Dランク以上の女性騎士のみで構成されており、男性からはアイドルとして、女性からは憧れとして、世界中にファンがいる。部隊員というだけでアイドル並みの人気があり、テレビや、ファッション誌などにもひっぱりだこ。ファンクラブは、500万人以上の会員がいる。特に隊長、副隊長、小隊長たちの人気は絶大であり、「世界で最もモテる女たち」とも言われている。隊員にはレズビアンが多いとの噂がある。

10人の小隊長がそれぞれの自分の部隊（30人程度）を持っており、そのトップとして、隊長がいて、隊長の補佐として、副隊長がいる（小隊長の内、4人がハーレム要員）。主な仕事や部隊の統率は小隊長たちが行う。また、各小隊にはさらに1、2人の副小隊長

長がいて、補佐をしている。小隊長は学園の教師も兼任していて、学園への推薦権も持っている。現在、隊長はAクラスで小隊長はBクラス7人、Cクラス3人。（仮、小隊長たちの平均年齢は30歳である。これは世界中の部隊の中でもかなり若い。なぜならば、バルキュリア部隊の小隊長クラスの人間は皆世界でもトップクラスの实力を持っているため、すぐに出世して他の所になってしまうからである。だいたい27、8歳ぐらいで小隊長になり、33、4歳で出世する。）

Dランク以上の騎士しかいないのは規則ではなく、単に入隊試験に合格するにはDランク以上の魔力がどうしても必要となってしまうだけである。規則上はDランク以下でも入隊試験に合格することができれば入隊できる。また、たとえDランク以上の魔力を持っていても、簡単に入隊できるわけではない。

・近衛騎士団：ガリア王国の主に、学園の重要な役人とその家族を警備することが主な仕事であり、バルキュリア部隊と同じくDランク以上の女性騎士のみで構成されている。表舞台にはほとんど出てこないため、あまり知名度はないが、実力、権力ともにバルキュリア部隊と同等である。

・中世ヨーロッパの雰囲気と魔法が融合した美しい街並み。

・7大国の次に権力のある国。

・8年制。13歳から20歳までの学生がいる。魔力のランクに係なく、学力テストによって入学の可否を判定する。ただ、王族や貴族などは推薦によって入学する場合が多い。

・13歳～15歳が低学年、16歳～20歳が高学年となる。低学

年から高学年になるとカリキュラムが大きく変わるため、大きな境目である。また、高学年に上がる際に、編入試験に合格すれば、他学部への編入が認められている。また、外部からの編入生もこの境目に来ることが多い。

・学年ごとにクラスは分かれているが、全学年がいつしよに受ける授業もかなりあり、行事もたくさんあるため、他学年との交流は盛んである。特に、低学年同士、高学年同士でそれぞれ行われる授業が多い。

・付属下級学園があり、6年制の7歳から12歳。

・ほとんどの生徒は卒業したら働くが、学園院に進学し、研究を行う者もいる。

・専攻は様々。騎士候補生、魔法学科、薬学科、歴史学科、演劇科などなど。花形は騎士候補生であり、あらゆる科目をまんべんなく修学するエリート（この世界では騎士はエリート階級）。また、魔法学科も伝統があり有名ではあるが、ネクラなイメージがあるため、騎士候補生ほどの人気はない（ただし、生徒の優秀さはスポーツ以外は劣っておらず、偏差値もほぼ同じ）。この二つがこの学校の代表的な学科であるが、互いに仲が悪い。学科学年を問わない一般教養の授業も多いため、この学科の学生同士が衝突することもしばしばある。

・騎士候補生：定員は一学年120人。

・寮：1・クラス分けは魔力のランクに関係ないが、寮はランクによって分かれている。

・ A、Bの50人（女子のみしかいない）：A、Bランクは女性のみなので、男子寮はない。最高の魔力を持つエリート中のエリートな上、王族も含まれているので、寮は最高級に豪華。各個人に一部屋ずつ与えられる部屋は、高級ホテル並み。特別に使用人を連れてくることができ、使用人室もある。また、食堂やプールなども備えられている。しかし、いくら豪華といっても「学生寮」であり、学園側もこれを貫かねばならないため、門限などのルールはある。

・ C、D、Eの600人（男子：女子＝100：500）：男子寮と女子寮に分けられる。男子寮と女子寮でほぼ半分に分かれている。男子寮はA、Bランクに次ぐ扱いである。A、Bランクには劣るがこちらも当然豪華であり、食堂、プールなどが備えられている。ただ、使用人は男子寮にしかない。

・ A～Eまでの高ランクの寮は同じ敷地内にあり、庭を挟んで向かい合う形で隣接していて、通路でつながっている。

・ F以下50000人：当然男子寮と女子寮に分かれている。寮はいくつかに分かれており、ランクによる分割はなく、いくつかある寮に無作為に振り分けられる。ただ、F、Gランクは個室であるのに対して、それ以下のクラスは2人部屋。各寮によってそれぞれ特色がある。人数が多いため、敷地内で、商売も行われていて、静かな高クラス寮とは違い（実は高クラス寮も静かではないのだが）、活気がある。女子寮と男子寮は大通りと呼ばれるメインストリートを挟んで向かい合っている。ハイクラスのように豪華ではないが、整備はいきとどいており、きれいな街並みは評判が高い。

・ コロッセオ

学園敷地内にあるスポーツ施設群。センターコロッセオを中心に様々な施設があり、騎士候補生の訓練や、サークルの練習、各種イ

ベントに使われる。

- ・闘技大会
年に一回行われる大会。

- ・W杯
闘技大会の世界版

世界観

- ・魔法がある。

- ・文明は発達しており、魔法による高度な映像技術や通信手段がある。こちらの世界とは全く違った科学体系をしている。ちなみに、治療魔法があるため、医療技術はかなり発展しており、特に、「外傷」であれば大抵の傷はほとんど痕が残らず直すことができる。

- ・人口は全種族あわせて、20億人といわれている。

- ・魔法は誰でも使える。だが、魔法の能力ほど才能に左右されるものはない。

- ・魔法使いにはA〜E（仮）までのランク（称号）がある。これは一般には学校を卒業し、社会に出てからの試験や功績によって決まるものであるが、優秀な生徒には学校にいる間にもランクをもらえ

る。

・強力な魔力を有するのは女性が圧倒的に多いため、各国の重役はほとんど女性であり、女尊男卑の世界であるといえる。ただ、これは行政などの特殊な職業についてのみの話であり、他はこちらの世界と変わらない。（単純な身体能力であれば、男性のほうが優っている。しかし、身体能力は魔法による身体強化によっていくらでも変化するため、結果、女性の方が強い。）

・魔力

すべての人間は魔力をもっている。魔力は最も重要な社会的ステータスであるため、ほぼすべての人間は生まれた時に国際個人魔法力検査（通称、魔検）を受ける。A Jの10段階のクラスがある。魔力の大きさの差は、ハイクラスになるほど大きくなる。つまり、IとJの差よりも、AとBの差の方がはるかに大きい。Aランクの魔力はJランクの魔力の1万倍とも言われている。（F〜Jクラスはドングリの背比べともいえる。）ちなみに、Jランク一万人が集まったからと言って、Aランクと同等ということではない。一人の人間の中に大きな魔力があるということが重要。一万人がいくら協力しても、Aクラスのみが使える大魔法が使えるわけではない。量子魔力定理というものがあり、例えばAとBの間の魔力というものは存在せず、魔力の値はどびどびである。訓練によって魔力が上がる時もいつきに上がる。しかし、同じクラスでもわずかに揺らぎがあり、全員全く同じというわけではない（この揺らぎは高いランクほど大きくなり、Bクラスが一番上と一番下では、EとFほどの違いがある）。この揺らぎのことを魔力バンド（魔力帯）と呼んでいる。また、魔力の差を専門用語で魔力ギャップと呼ぶ。魔力は生まれた時にほぼ決まっているが、訓練することでクラスをアップさせることができる。ただし、非常に困難である上に、高いクラスほど上がりにくく、実際、Cクラス以上にランクアップした

例は過去に一度もない。

特にAクラスの魔力を持つ者は特別であり、世界でも50人に満たず、そのほとんどが王族である。ちなみにBクラスは1000人程度、Cクラスは2万人程度といわれている。A〜Eをハイクラスといい、EとFを境にして人数が急に落ちる。また、低クラス（F〜J）の男女比はほぼ変わらないが、ハイクラス（A〜E）になると途端に男性の割合が少なくなり、A、Bクラスの男性はいまだかつて存在しない。つまり、男性で最高クラスの魔力はCであり（しかも経験則によればDクラス以下からCクラスにはランクアップできない）、これも、世界で100人に満たない。魔力は血で決まるため、Cクラスの男性の精子は貴重であり、各国で王族並みの扱いを受ける。（ただし、権力は別物）

ランクアップ適正期は13〜18歳であり、20歳を超えてからのランクアップは極めて困難である。

また、高い魔力を持つ人ほど老化が遅く、Bランク以上の魔力も持つ者にいたっては、死ぬまで老いることなく、（20代のころと変わらない外見をしている。）さらに、これも魔力の影響か、高ランクには美男美女が多い。

魔力には詳しくは4つの値があり、魔力容量、体内伝達率、魔力感受率、フィラメント値である。魔力容量は、まさにその人が持っている魔力の多さを表していて、最も重要視され、通常、魔力のクラス分けはこの値で決まる。体内伝達率は、自分の魔力の体内への伝達のしやすさであり、主に、魔力の肉体強化に関係する。魔力感受率は相手からの魔力の受けやすさであり、高いほど回復魔法や補助魔法の効果が大きい。フィラメント値は精子または卵子に含まれる魔力の多さであり、高いほどその人の子供が高いクラスの魔力を持つ可能性が高くなる。体内の魔力の量という意味では、根本的には魔力容量とフィラメント値は同じであり、実際ほぼすべての人は魔力容量とフィラメント値は同じである。（違う場合でも、魔力容量Jの人がフィラメント値Iになる程度で、ハイクラスでは例外なく

一致)通常、フィラメント値だけでなく残り2つの値も魔力容量に付随する。

・おおよそのランク別人口

A : 4 7 (内、七大国にいるのが、2 9 人。 6 / 5 / 5 / 4 / 4 / 3、2)

B : 1 0 0 0

C : 2 0 0 0 0

D : 5 0 0 0 0

E : 1 0 0 0 0 0

ここから男子の割合がいつきに

少なくなる。

F : 1 0 0 0 0 0 0

G : 5 0 0 0 0 0 0 0

H : 5 0 0 0 0 0 0 0 0

I : 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0

J : 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

・騎士：エリートであり、軍の中枢を担っており、政治にもかかわっている。

・魔道師：主に魔法の研究を行っている。政治にもかかわっている。

・軍：軍人は主に騎士とそれ以外で構成されていて、上級職はほぼ騎士で占領されている。主戦力となるのも騎士である。騎士のみで構成された軍隊のことを騎士団とよぶことがある。

騎士、魔法使いのランク：

貴族の爵位：

軍の地位：

・基本的に、強力な魔力を有する優秀な人間ほど地位が高く、王族や貴族は強力な魔法使いである。魔法の能力のほとんどはその血で決まるため、昔、強力な魔法使いが貴族になってゆき、現在そのま貴族の家系に強力な魔力を持った人間が生まれる。特に王族はその最たるものである。高度な文明を持つている国でも未だに王族制などという古い社会体制が続いている主な要因の一つである。

・特定の一人の男性のみとしか性交渉をしていない女性の方が、不特定多数と性交渉をしている女性よりも、強い魔力を持った子供を産むことができるといわれている。原因はいまだに不明であるが、統計上は確認されているため、世界中でほぼすべての人が信じている。このことから、結婚まで貞操を守ることが非常に重要視されている。（ただ、ヒロインたちは作中で結婚前に主人公とセックスするが、これは主人公がAランクの魔力を持っているから特別である。それにどうせ結婚するし）。ちなみに、これは女性にのみ当てはまる事柄であり、男性はどれだけ多くの女性と性交渉しようと関係ないといわれている。（つまり、主人公の処女独占ハーレム完成への大きな手助けとなるw）

・国際連盟認定個人魔法力検査（通称、魔検）：この世界において最も重要なステータスである魔力を測定する検査であり、ほぼすべての人間が生まれた時につける。国際連盟直属の機関によって厳密に行われ、データは国連によって保管される。申請から結果が出るまでに約1カ月かかる。また、生まれた時とは別に、各学校、組織によって決められた期間に定期的に行われる（ガリア魔法学園では2年に一回）。初めて魔検を受けるときは、魔力の他にも、健康状態検査や、DNA登録なども行う。

・実は、魔力を測る手段は魔検以外にもある。かなり高価な装置を使うことで、個人でも測ることができ、国際的に意味を持つ

然ときれいな街並みで、観光客が絶えない。平和主義であり、各国への支援も行っている。王族の血は現在判明している限りでは世界で最も古く、強力な魔力を秘めている。そのため、実は王族宮内は覇権争いなどでドロドロである。

あ一号プロジェクト：ガリア王国のある機関が秘密裏に進めていたプロジェクト。高い魔力を持った人物の卵子から人工的に子供を作り出すというプロジェクト。いわゆる試験管ベイビー。この世界では、このように人工授精や、クローンなどの命を人工的に作り出すことは、最大の禁忌とされている。

キャラクター

・主人公：

16歳。165cm。かなりの美少女、もとい美少年。親不明の捨て子であり、10歳まで孤児院にいた。孤児院はあまりいいところではなく、引き取られた里親にはひどい虐待を受け、学校でもいじめられ、庇ってくれる先生や生徒はいなかった。（仮設定：極度の近眼であったため、瓶底メガネで顔の5分の1が隠れており、せつかくの顔が台無し。しかも、体が弱く、目立たない性格であったため、女性と一度も付き合ったことがない。しかし、魔力適正が非常に高く、魔法世界にきて、体力が向上し、視力も並になった。）Aクラスの魔力感受率とフィラメント値を持つ。（もしくは、魔法を全て吸収する。つまり無効かする。吸収した魔力は精子にためられて放出されるため、子供が高い魔力を持つ。）非常に頭がよいが、上記の事情によりまともな教育を受けていなかった。魔法世界に来た当初は、世界の常識などが全く分からない状態だったが、すぐに覚えて、学園のテストでもトップクラスの成績をとるようになる。学園に入学できると知った時、魔法学科を希望していたが、美保の

推薦では騎士候補生にしか入ることができず、かなり落ち込んだ。魔法界に来た時に意味も分からず魔獣に襲われていたところを助けられて以来、（元の世界も含めて）初めて優しくしてくれた美保に依存している。穏やかな性格で、自分が傷つけられることではめつたに怒らないが、他人を傷つける行為には厳しく、特に償うことのできないような行為（殺人や強姦）を行った人には容赦をしないような裏の顔ももつ。しかし、基本的にはヒロインたちにいいようにされている。普段は怖がりでおっとりとした優しい性格だが、大事な人のためならば平気で命を差し出すことができる。奥手ではあるが、関係を持った責任はしっかり取る。複数の女性と関係を持つことに対して、あまり抵抗が無く、全員を平等に愛することができる。実は、ガリア王国のある機関が極秘に進めていたプロジェクト（あ一号）の唯一の成功例である。このプロジェクトとは、人工的に魔力の高い人間を作り出すという計画である。女性の卵子を抽出し、それに遺伝子を組み替えた精子を受精させ、プラントの中で通常の赤ん坊になるまで育てるといふ、いわゆる試験管ベイビー。ちなみに主人公の卵子提供者は当時ガリア第一皇女であった涼香であるため、実は主人公は涼香の実の息子であり、第一皇子である。しかし、機関の存在が明るみにでて（明るみとは、あくまで評議会のレベルの話であり、一般人は知らない）、糾弾されたことによりプロジェクトは廃止され、さらに、忌み嫌われた存在の人工生命であるため、予言により国に破滅をもたらすとされた。殺してもその残骸は残り、脅威は完全には払拭されないため、その存在全てを消すために、ガリア王国に伝わる古代の禁術によって、異界（つまりこちらの世界）に飛ばされた。

もう一つの人格：虐待を受けていたために生まれた人格。主人公はこの人格のときは覚えていないが、この人格は主人公が表に出ているときのこと覚えていて。普段は表に出てこないが、極度のストレス状態になった時などに出てくる。主人公の性格の表裏を逆にしたような性格。きれいな女には目が無く、気に入った女はど

んな手段を使っても自分のものにする。しかし、一回自分のものになった女にはとても優しい。とはいっても彼の目に留まる女性はなかなかいないため、次から次へと女性を落としているわけではない。自分が犯罪を行うことは気にしない（とはいっても、女をレイプする（しかも最終的には必ず落とす）ことに関することぐらいであり、基本無害。）が、他人が行う犯罪は許さない。ダークヒーローといった感じ。

試験管ベイビーということが世間にばれたため、迫害を受ける。さらに、ブリタニア帝国に誘拐され、人体実験と称した拷問を受けて精神が崩壊する。

子供っぽい主人公はキライ。子供っぽいというのは、例えば、「うるせえ!!」とか「ふざせんな!!」とかをヒロインなどに向かって言うようなキャラクタのこと。こういったキャラははつきりって何の魅力もない。

・ヒロイン：一応メインヒロインは美保だが、基本的に各ヒロインは同等であり、作中で全員主人公と関係を持つことになる。当然全員処女で、エンディングはハーレムエンド。

・美保：

メインヒロイン。エルフ。25歳。身長178cm。Bランクの魔力をもつバルキュリア部隊の小隊長である。入隊して3年で小隊長にまでなった天才。ちなみにこれは最年少記録である（過去の記録は5年）。バルキュリア部隊人気投票（応募総数250万）では隊長・他の小隊長を退け、2年連続1位である。黒色の長い髪をもち、モデル顔負け（というか実際にトップモデル）のスタイルである。

常に冷静沈着なクールビューティーで、厳しい態度をとるが、面倒見は良い。余裕たっぷり大人の雰囲気醸し出している。かなりのSであり、主人公を攻めまくる（学園黙示録の毒島先輩や戦場のヴァルキュリアのセルベリア、ff13のライトニング、ISの姉

さん)。主人公が魔法世界に飛ばされて初めてあつた人間。そのとき、襲われていた主人公を助けるが、油断したところを襲われて逆に主人公に助けられる。このときから主人公のことが気になり初めていたが、奈央子とのSEXを見てしまい、自分の気持ちに気づく。物語後半は、人前ではクールに装っているが、主人公と二人だと甘える。騎士団候補の講師でもあり、自身の推薦権で主人公を騎士団候補生に推薦入学させる。名門貴族の出身で、ボーアと許嫁だったが、品の無いボーアのが嫌いだつたため、今まで肌を触れさせたこともない。涼香のことを尊敬している。涼香が一号プロジェクトに使われていた事実を知る数少ない人物である。そのため、人工生命体のことを特に毛嫌いしており、主人公の秘密を知った時、冷たい態度をとってしまう。元々、Bクラスの中でもトップの魔力を持っていた（注、魔力の章参照）上に、鍛練も怠らなかつたため、主人公と何度かSEXすることで、Aクラスにランクアップする。

・奈央子：

25歳。ダークエルフ。身長182cm。Bランクの魔力をもつバルキュリア部隊の小隊長である。入隊して4年目で美保と同時に小隊長となった天才。濃い褐色肌に銀髪の長い髪。まあ、コードギアスのヴィレッタや、ドラゴノーツのガーネット、ああっ女神さまワールド、ロードス戦記のピロテースのような感じ。艶妖な外見と身のこなしだが、男勝りな口調。優花と並んで女性からの人気は美保を抜いて一番である。エロく、美保を超えるDSであり、いっしょに主人公を攻める。レズビアンであり、隊員は全員俺の嫁と公言している。主人公が美保に女装させられているときに初めて会い、一目で気に入り、いきなりディープキスをする（実はこれが男性との初めてのキス）。主人公が男と分かつて、その外見と雰囲気から「初めて男に興味を持った」と言つて、何かとちよっかいを掛けてくる。ある事件以降本格的に主人公に惚れてしまい、「ちよっかい」が「色仕掛け」になる（ちなみに主人公の童貞を奪うのも奈央子）。

主人公とのSEX以降、「俺は主人公の物だ。」と言ってところかまわずベタベタする。ちなみに、あくまでレスビアンなので、他のヒロインに対する嫉妬は全くない（むしろ、主人公のおこぼれを預かるうとしている）。

・涼香

ガリア王国の王女。34歳。身長171cm。金髪。Aランクの魔力を持つ。前王女が早期引退したため、若干29歳の若さでガリア王国の最高権力者となった。犯罪者に対して容赦をせず、評議会での慄然とした振る舞いと、人前ではまったく笑わないことから、氷の女王と言われている。非常に厳しい態度ではあるが、国民のことを第一に考えており、ファンも多い。中には「女王様に叱られたい！」とかいう変態どもの声も少なくない。

主人公の実の母親である。「検査」と称して自分の意思とは関係なく知らない間に卵子を提供させられていた（もちろん検査する医師は全員女）。機関のことが明るみに出た時、ショックを受けた上、自分の子供である主人公を自らの手で消した。このことにより、自分には子供を一生持たないと決めた。そのため、処女。（血のつながった実の母親が処女とか萌えるwww）

美保が表のメインヒロインならば、涼香は裏のメインヒロインのような存在。当然主人公とセックスするし、ハーレムの一人。

・真奈美

ブリタニア王国の王女。35歳。身長182cm。Aクラスの魔力を持つ。ブリタニア王国を今の状態にした張本人。非常に冷酷な性格であり、子供だろうと容赦なく殺す。極度の男嫌いであり、処女。女を拷問するのが趣味。主人公に不思議な魅力を感じ、主人公を拷問する。主人公が美保たちに助け出されたのち、捕まり、主人公に調教兼拷問をされて、肉便器にされる。

・零

マッドサイエンティスト。プロジェクトの黒幕にしてラスボス。A
クラス。40歳、170cm。ダークエルフ。

物語を作る上で大切なことは、世界観・キャラクター・ストーリー
である。これに加え、小説ならば文章力、漫画ならば画力、アニメ
や映画ならば演出力と演技力が必要である。

この作品は特に、世界観に力を入れている。欧州神話などを勉強し
て、魔法やモンスターなどの設定をより詳細に決めていくことで、
さらに面白い作品になるだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3922y/>

ガリア魔法学校物語（設定）

2011年11月10日06時17分発行